



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月10日

上場会社名 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9610 URL <http://www.wlw.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 森 捷三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グローバルコーポレート本部本部長 (氏名) 渡壁 淳司 TEL 03-6381-0234
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	651	△10.0	△84	—	△59	—	△44	—
2018年3月期第1四半期	723	2.2	△79	—	△86	—	△80	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △4百万円 (—%) 2018年3月期第1四半期 △78百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	△8.56	—
2018年3月期第1四半期	△15.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	3,435	2,614	76.1	507.27
2018年3月期	3,627	2,619	72.2	508.16

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 2,614百万円 2018年3月期 2,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,620	3.3	130	△47.0	130	△47.3	100	△17.0	19.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	5,154,580株	2018年3月期	5,154,580株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	542株	2018年3月期	542株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	5,154,038株	2018年3月期1Q	5,154,041株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済情勢の変化等の不確定要素により実際の業績が記述の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績の概要は、次のとおりであります。

世界経済は堅調に推移しておりますが、トランプ政権の関税政策の影響が中国市場に影響を与え始めています。またEUでの一般データ保護規則(GDPR)が本年5月25日に適用開始されたことによる対策コストが日本と北米の販売管理費に影響を与えております。

日本では、引き続きイノベーション案件の引き合いが増加傾向にあり、売上高は堅調でしたが、今後、新規商品開発、会計を含む基幹システム入替等の投資を予定しており販売管理費のコントロールが重要になってきます。

米国では、大口顧客のライセンス契約終了による減収の影響が当第1四半期連結累計期間に大きく出ました。

欧州は、好調に推移しております。中国では、先に述べた通り、トランプ政権の関税政策の影響で既存顧客に大きな影響がありました。アジア・太平洋地域では、オーストラリアでの案件拡大などグループ運営の成果が開始しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高6億5千1百万円(前年同期比10.0%減)、営業損失8千4百万円(前年同期は7千9百万円の営業損失)、経常損失5千9百万円(前年同期は8千6百万円の経常損失)となっております。また親会社株主に帰属する四半期純損失4千4百万円(前年同期は8千万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

②セグメントの業績は、次のとおりであります。

(イ) 国内

イノベーション人材の育成など、時代の変化を反映する研修の引き合いが引き続き増えています。営業資格制度やポータル案件のライセンス受注など継続案件も堅調に推移した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は昨年を上回り、粗利率も改善しました。しかし、新商品開発に向けた研究開発/委託費やシステム利用料等の販売管理費が昨年度より増加しており、営業損失を引き続き計上しました。

この結果、売上高2億7千6百万円(前年同期比3.3%増)、営業損失7千3百万円(前年同期は7千1百万円の営業損失)となりました。

(ロ) 北米

大型のライセンス契約が終了した案件があり、これに代わる大型案件の受注が当第1四半期連結累計期間内に成約できなかったことが影響して、売上は昨年より大きく下がりました。ただし提案・見込案件のパイプライン自体は下半期に向けて増加傾向です。

販売管理費については、昨年と比べ大幅に削減することで営業損失の増加を抑制しています。

この結果、売上高3億6千1百万円(前年同期比18.1%減)、営業損失3千万円(前年同期は1千6百万円の営業損失)となりました。

(ハ) 欧州

ウィルソン・ラーニング ヨーロッパ(英国)の売上高は既存の主要顧客の契約継続などで堅調に推移しています。新規顧客開拓のためのマーケティング策も引き続き功を奏し、新規顧客受注も進んでいます。ウィルソン・ラーニング フランスも同様に、従来の大口顧客の他に新規の顧客が加わり、売上高は昨年を上回りました。

この結果、売上高1億3千4百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益3千3百万円(前年同期比98.4%増)となりました。

(ニ) 中国

海外からのインバウンド案件は昨年度に比べ大幅に増加したものの、トランプ政権の貿易政策の影響で、中国で直接契約していた大口の多国籍企業の購買計画が縮小・中止となり、当第1四半期連結累計期間は大きな影響を受けました。

この結果、売上高1千6百万円(前年同期比22.1%減)、営業損失1千3百万円(前年同期は4百万円の営業損失)となりました。

(ホ) アジア・パシフィック

ウィルソン・ラーニング オーストラリアではAPACのグループ運営体制による営業支援策が功を奏し、既存顧客の拡大受注に成功して売上を大きく伸ばしました。ウィルソン・ラーニング インドおよびウィルソン・ラーニング アジアでは、昨年比微増で当第1四半期連結累計期間を終えました。

この結果、売上高4千3百万円(前年同期比35.2%増)、営業損失1百万円(前年同期は4百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、27億8千万円（前連結会計年度末は30億4百万円）となり、2億2千3百万円減少しました。これは、主に現金及び預金の増加4億1千3百万円がありましたが、受取手形及び売掛金の減少6億5千8百万円があったことによるものです。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、6億5千4百万円（前連結会計年度末は6億2千3百万円）となり、3千1百万円増加しました。これは、主に繰延税金資産の増加2千1百万円、敷金及び保証金の増加1千5百万円があったことによるものです。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、6億2千8百万円（前連結会計年度末は8億2百万円）となり、1億7千4百万円減少しました。これは、主に買掛金の減少7千万円、未払費用の減少7千6百万円、賞与引当金の減少4千8百万円があったことによるものです。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、1億9千2百万円（前連結会計年度末は2億5百万円）となり、1千3百万円減少しました。これは、主に長期借入金の減少9百万円、リース債務の減少2百万円があったことによるものです。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、26億1千4百万円（前連結会計年度末は26億1千9百万円）となり、4百万円減少しました。これは、為替換算調整勘定の増加3千9百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少4千4百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、2018年5月14日に公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,704,294	2,117,804
受取手形及び売掛金	1,193,612	535,343
有価証券	38	38
たな卸資産	25,833	42,118
その他	87,333	90,625
貸倒引当金	△6,750	△5,093
流動資産合計	3,004,361	2,780,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	14,144	14,317
工具、器具及び備品 (純額)	18,902	16,754
土地	19,843	19,843
リース資産 (純額)	36,862	34,558
有形固定資産合計	89,753	85,474
無形固定資産		
ソフトウェア	4,614	6,365
教材用コンテンツ	22,810	19,753
その他	567	2,045
無形固定資産合計	27,992	28,164
投資その他の資産		
投資有価証券	160,467	157,717
長期貸付金	4,060	1,976
退職給付に係る資産	79,390	81,685
敷金及び保証金	93,899	109,563
繰延税金資産	154,269	176,028
その他	20,554	19,271
貸倒引当金	△7,071	△5,178
投資その他の資産合計	505,569	541,064
固定資産合計	623,315	654,702
資産合計	3,627,677	3,435,539

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	166,231	95,773
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	38,760	38,760
リース債務	10,437	10,450
未払金	16,134	16,106
未払費用	206,505	129,530
未払法人税等	24,962	7,460
未払消費税等	31,472	15,737
前受金	104,838	160,507
賞与引当金	67,768	19,206
役員賞与引当金	16,890	9,501
その他	18,779	25,334
流動負債合計	802,780	628,368
固定負債		
長期借入金	70,830	61,140
リース債務	30,513	27,876
繰延税金負債	35,388	35,469
退職給付に係る負債	2,565	2,518
資産除去債務	50,199	50,131
その他	16,322	15,523
固定負債合計	205,819	192,659
負債合計	1,008,600	821,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	722,698	722,698
資本剰余金	557,452	557,452
利益剰余金	1,130,558	1,086,444
自己株式	△216	△216
株主資本合計	2,410,493	2,366,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,167	3,167
為替換算調整勘定	205,416	244,963
その他の包括利益累計額合計	208,583	248,131
純資産合計	2,619,077	2,614,511
負債純資産合計	3,627,677	3,435,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	723,116	651,046
売上原価	215,620	202,515
売上総利益	507,495	448,530
販売費及び一般管理費	586,798	532,982
営業損失(△)	△79,302	△84,451
営業外収益		
受取利息	718	661
貸倒引当金戻入額	—	1,893
為替差益	—	24,930
賃貸料収入	2,332	5,454
投資事業組合運用益	2,586	—
雑収入	2,025	1,775
営業外収益合計	7,662	34,714
営業外費用		
支払利息	1,237	1,725
為替差損	10,066	—
持分法による投資損失	125	635
賃貸収入原価	2,332	5,454
雑損失	1,516	1,750
営業外費用合計	15,278	9,565
経常損失(△)	△86,917	△59,302
税金等調整前四半期純損失(△)	△86,917	△59,302
法人税、住民税及び事業税	4,846	327
法人税等調整額	△11,109	△15,516
法人税等合計	△6,262	△15,189
四半期純損失(△)	△80,655	△44,113
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△80,655	△44,113

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純損失(△)	△80,655	△44,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75	—
為替換算調整勘定	2,478	39,547
その他の包括利益合計	2,402	39,547
四半期包括利益	△78,252	△4,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△78,252	△4,565

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。